
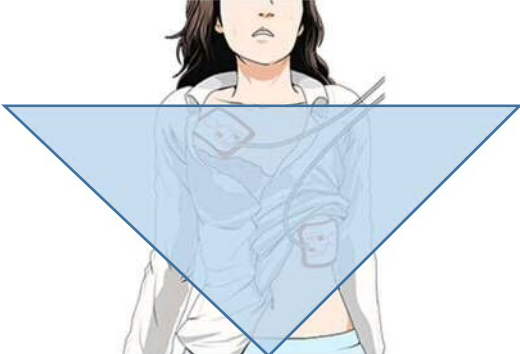


三角巾を利用したプライバシー保護方法

■ AED を使用した心肺蘇生法を実施する際には、次の手順の中でプライバシー保護に努めてください。

<p>① 胸骨圧迫を優先して行う ※服の上から実施</p>	<p>② AED 内に三角巾2枚 入っています</p>	<p>③ 三角巾を使用して プライバシー保護する</p>
		
<p>④ パッドを装着する (右鎖骨の下部分)</p>	<p>⑤ パッドを装着する (左側胸部付近)</p>	<p>⑥ AED メッセージに従い 電気ショックを実施する</p>
		

【注 意 点】

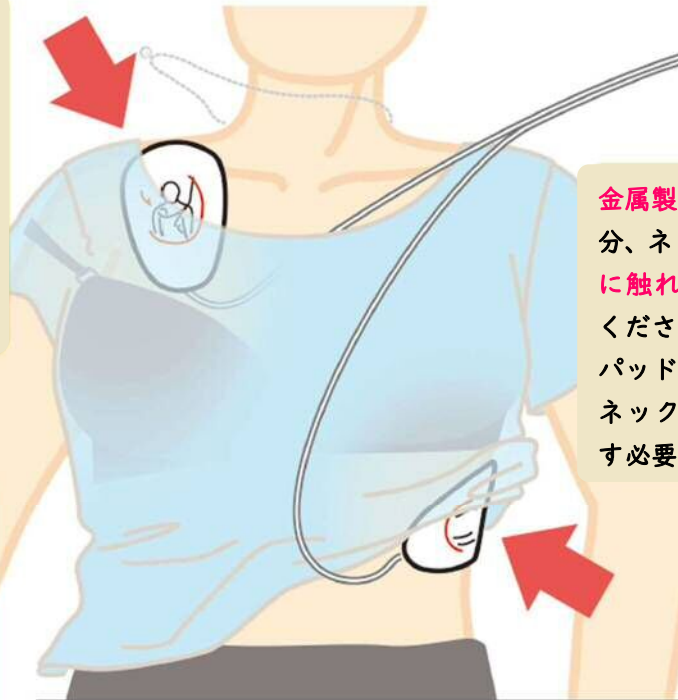
<p>注意① 服を脱がさず AED パッドを装着 ※プライバシー保護より AED を優先</p>	<p>注意② 三角巾をかけ、プライバシー保護する ※透ける場合などは三角巾を 2 枚使用</p>
	

女性にAEDを使うのを ためらわないで!!

服をすべて脱がさなくても、AEDは使用できます!

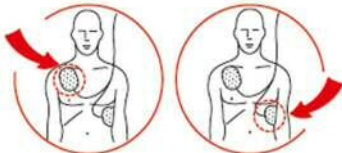
パッドを

素肌に直接貼り付ける
ことができているならば、**下着を
外す必要はありません。**
服の下で下着をずらして、
**右の鎖骨の下と
左わき腹のあたりに**
貼ることで対応できます。



金属製品（下着のワイヤー部分、ネックレス等）は**パッドに
触れさせないように**して
ください。
パッドに触れていなければ、
ネックレスは無理に取り外
す必要はありません。

AEDのパッドに描かれている
イラストをご参照ください。



パッドを貼った後に、上から上着やタオルなどをかけても大丈夫です

その他の注意事項

- * 汗などで胸が濡れている場合は、水分を拭き取ってください。
- * 電極パッドを貼る部分に貼り薬（湿布等）が貼られている場合は、貼り薬を剥がしてください。
- * ペースメーカー等が植え込まれている場合（胸に硬いこぶのようなでっぱりが見える）は、このでっぱりを避けて電極パッドを貼ってください。
- * 車内など、揺れている場所では使用しないでください。

**重要なことは
電気ショックの時間を
遅らせないことです**

電気ショックが1分遅れるごとに
救命率は10%ずつ低下します

完璧でなくても構わないので、命を助けるために、
勇気を持って一步を踏み出してください

心肺蘇生法の新たな注意点

－ これまでとどう違う？ －

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、心肺停止傷病者への対応が見直されました。心肺蘇生法を実施するときは以下の点に注意してください。

① 反応をみる

倒れている人の反応や呼吸を観察します。この時、顔を近づけすぎないようにしてください。



② 心肺蘇生法を行う

※胸骨圧迫を開始する前に、ハンカチやタオルなどで傷病者の鼻と口にかぶせます。

※ AED の使用については、これまでどおり変更はありません。

【大人の場合】

人工呼吸を行わず胸骨圧迫のみ行ってください。



【子どもの場合】

呼吸の障害で心肺停止となることが多いので、人工呼吸の講習を受けていて、それを行う意思がある家族等は、胸骨圧迫に加え人工呼吸を行ってください。

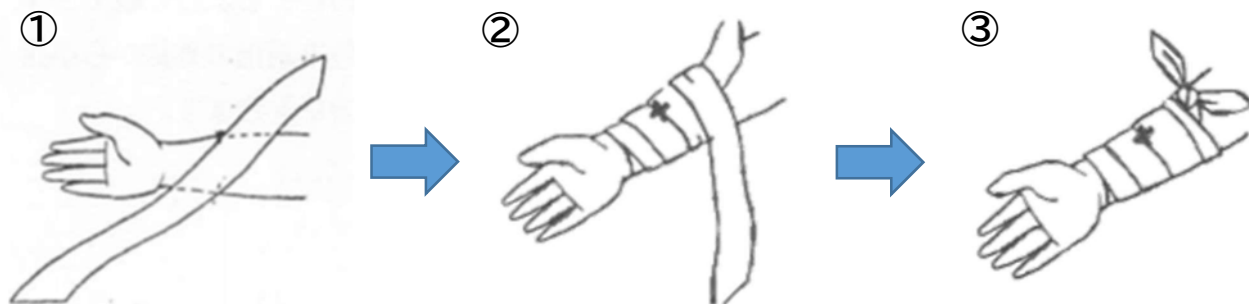


③ 心肺蘇生実施後

救急隊に引き継いだあとは、速やかにせっけんと流水で手と顔を十分に洗ってください。傷病者の口元にかぶせたハンカチやタオルは直接触れないようにして廃棄してください。

三角巾の使い方

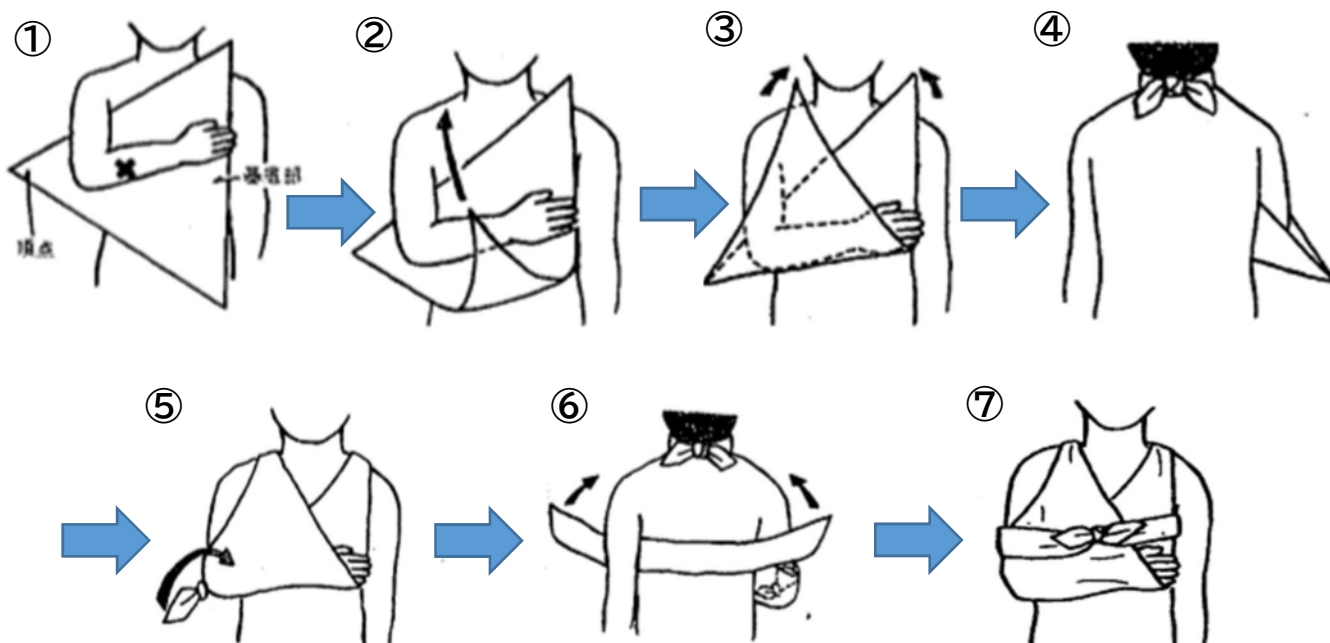
■前腕への使用方法(被覆)



－使用手順－

- ① 適当な幅の「たたみ三角巾」を作り、1/3くらいのところを、患部の保護ガーゼの上に当てます。(手首の側を長くします)【イラスト左】
- ② 長い方を持ち、らせん巻きの要領で巻きます。【イラスト中】
- ③ 他方の端と、傷口のない方で結びます。【イラスト右】

■腕の吊り方への使用方法



－使用手順－

- ① 頂点部を受傷部の肘側に来るようにする。
- ② 受傷部側の肘と体の間に三角巾を入れる。
- ③ ④下になっている端を受傷側の肩の方に引き上げ三角巾の端の両端を首の後ろで結ぶ。
(★注意:受傷者が痛がらない程度に引き上げる。)
- ⑤ 肘の部分を一つ結びにして、半袋状にする。(★注意:腕が三角巾から抜けられないようにする。)
- ⑥ ⑦歩行時の腕の動揺を防ぐため予備の三角巾等で固定します。